

しなののうた

錦木に混じりて松の際立つも一期に散りゆく落ち葉のロマン



杉田小百合

しなののうた

山ぎわに住む娘が拾う山栗の山の恵みを分けていただく

杉田小百合



しなののうた

どこやから木犀の香りただよいてうたた寝誘い甘き夢見る



杉田小百合

しなののうた

台風で傷むりんごを売る農婦ひとつおまけに話が弾む

杉田小百合



しなののうた

栃の実がたわわになるも家人なく鳥戯れる楽園なりき



杉田小百合